

文学部A方式I日程・経営学部A方式I日程・人間環境学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～23	日 本 史	24～44	世 界 史	46～60
地 理	62～70	数 学	72～77		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

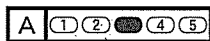
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

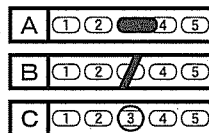
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(地 理)

〔I〕 プレート運動と地形、地震に関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。
解答は解答欄に記せ。

プレートテクトニクスは、地球表層付近が10数枚のプレートに分かれており、それらが互いに移動しているとの考えに基づく理論である。この理論は、世界の地形や地震の分布と特徴をよく説明する。

プレートが互いに近づいていく「狭まる境界」には、沈み込み境界と 境界の二種類がある。「狭まる境界」付近においては造山運動が活発であり、地盤が変位する断層や、地盤が波状に変形する が多数形成されている。一方、大西洋中央 やアフリカ大 帯のように、プレートが互いに離れていく「広がる境界」もある。また、プレートが互いに異なる方向にすれ違う「ずれる境界」も存在する。アメリカ西海岸にある 断層は、陸域に分布する「ずれる境界」の代表例である。

日本列島が属する環太平洋造山帯は、主に沈み込み境界に伴って成立している。沈み込み境界に沿っては やトラフが連なり、その陸側に、島が弓なりに並んだ が発達する地域も多い。一方、現在みられるもう一つの主要な造山帯である 造山帯は、沈み込み境界に加え、 境界も深く関わって成立している。

これらの地域においては地震がよく発生する。2016年11月には、 プレートと プレートの境界付近に位置するニュージーランドにおいて、⁽¹⁾ カイコウラ地震(M7.8)が発生した。2015年4月には、 プレートと プレートの 境界付近に位置するネパールにおいて、ゴルカ地震(M7.8)が発生している。史上最大級となるM9.5を記録した1960年チリ地震は、⁽²⁾ プレートが南アメリカプレートの下に沈み込む境界付近で発生した。日本列島でも地震が多く、2011年東北地方太平洋沖地震(M9.0)のようなプレート境界付近の地震に加え、活断層による地震も多発している。⁽³⁾

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な用語を答えよ。同じ記号のところには同じ用語が入る。

問2 文中の空欄 に入る最も適切な断層名，および に入る最も適切な造山帯名を答えよ。

問3 文中の空欄 ～ に入る最も適切なプレート名を答えよ。同じ記号のところには同じプレート名が入る。

問4 下線部(1)に関し，ニュージーランド南島の脊梁をなす山脈の名称を答えよ。

問5 下線部(2)に関し，この地震による津波は日本列島にも押し寄せて被害を発生させた。日本列島への津波の到達開始は地震発生からおよそ何時間後であったか。つぎの選択肢①～④のうち最も近いものを一つ選び，番号で答えよ。

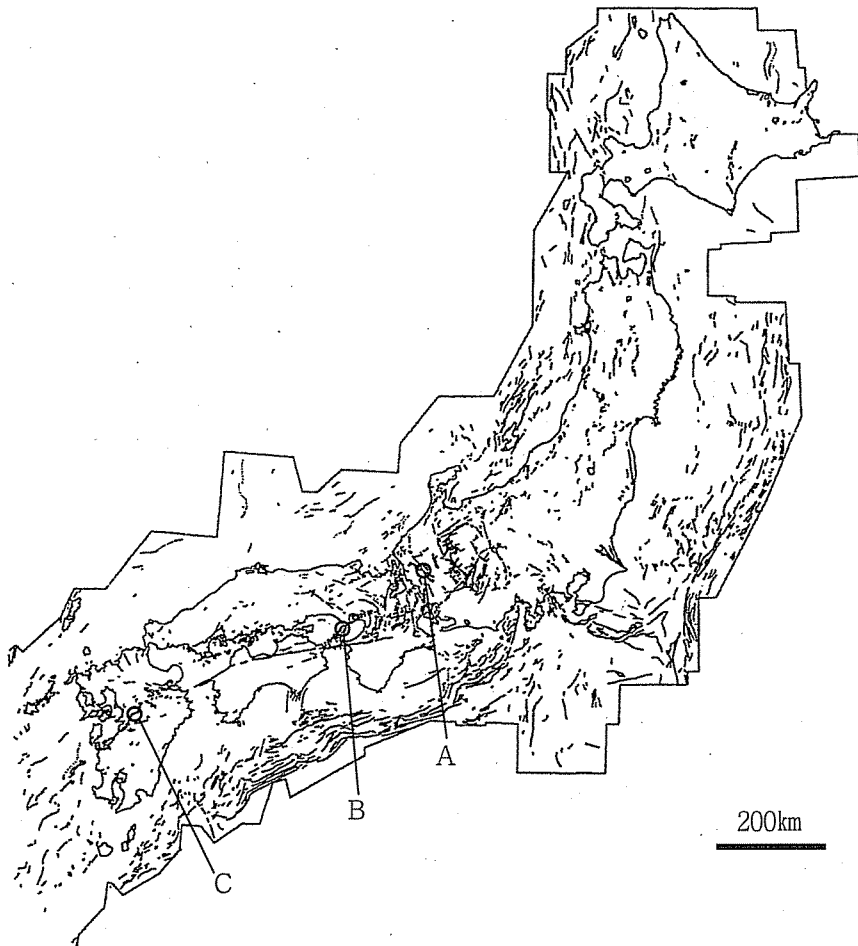
- ① 1時間後 ② 5時間後 ③ 20時間後 ④ 50時間後

地理

問6 下線部(3)に関し、以下の図は、日本列島およびその周辺海域の活断層分布を示したものである。これらの活断層の中には、明治時代以降に活動して地震を起こしたものもある。丸印A～Cを付した活断層はその代表例であり、Aは1891年濃尾地震の、Bは1995年兵庫県南部地震の、またCは2016年熊本地震の原因となった。これらA～Cの活断層の名称として最も適切なものを、つぎの選択肢①～⑤からそれぞれ一つ選び、番号で答えよ。

[選択肢]

- ① 千屋断層 ② 丹那断層 ③ 根尾谷断層
- ④ 野島断層 ⑤ 布田川断層



宇津徳治ほか編(2010)を一部改変して使用。

〔Ⅱ〕 国際移住に関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

2015年の世界人口約 億人のうち国際移住者は約2.4億人を数える。国際移住者は主として移民と難民に分けられ、同年の難民は1,900万人を超える。

国籍、人種、宗教、政治等の理由により迫害を受けるという恐れを有するため国籍国の外にいる者、それが難民条約でいう「難民」に該当し、条約難民と呼ばれる。しかし「アフリカの年」といわれる 年以降、アフリカではすでに国民国家建設の過程で紛争が継続し、生命、安全が脅かされたため自国から逃れる人々、いわば紛争難民が増大していた。

難民の発生には地域性がある。1970年代後半、東南アジアではインドシナ難民が大量に発生した。西アジアの では1973年のクーデター⁽¹⁾により王政が崩壊し、親ソ連派政権が誕生したものの政権基盤が脆弱であったため、1979年にソ連が軍事介入し、それ以降、内戦が続いている。同国ではその過程で多くの難民が生じ、その数は未だに260万人を数える。

「アラブの春」以降の中東では、内戦が発生した からの難民が、2011年から2015年末までに480万人を超え、同国は最大の難民発生国となっている。その数は同国人口の約四分の一にもあたり、その影響はヨーロッパ各国にも及んでいる。

ボスニア・ヘルツェゴビナではクロアチア人、 人、ムスリム人(ボシュニャク人)の民族対立によって1993年頃から内戦が激化し、難民が多数生じた。しかし同国のみならず各国・地域においても、国境を越えられなかった国内避難民数は更に多い。

一方、移民の定義は明確ではない。外国生まれを移民とする国と、外国籍を持つ人を移民とする国とがあり、世界の移民数を把握することは困難である。また、「生き残るため」の移民も多く、移民と難民を明確に区別することも困難である。

かつて中国福建省や広東省などから東南アジアなどへの移民は と呼ばれ、またそれに対するものとして、インドからの移民は とも呼ばれた。今日でも国際移住者は増加傾向にあり、国際移住者が最も多く居住している

地理

国は である。

国際移住は先進諸国と発展途上国との間に存在する経済格差に基づく南北問題に起因している。しかし今や発展途上国間の格差が増大することに伴う 問題が顕在化しており、それがまた国際移住を複雑化させている。2015年の世界の労働力率(労働年齢人口に対する労働者と求職者の割合)は62.9%であるが、先進諸国では今後、低下が予想され、もともと労働力率が高い発展途上国では横ばいが予想されている。経済成長を前提とすれば、労働力の国際移住が必要であるが、先進諸国では移民受入に対する国内労働者側の懸念も示され、一部では移民排斥⁽²⁾も発生している。

(『世界国勢図会2016/17』の文章の一部を改変)

問1 文中の空欄 に該当する数値を以下の①～⑤から一つ選び、番号で答えよ。

①61

②65

③69

④73

⑤77

問2 文中の空欄 ～ に該当する語句を答えよ。 には数値を答え、 には国名を答えよ。国名は正式名称でなくてよい。

問3 下線部(1)に関連して、インドシナ難民が大量に発生した理由を40字以内で説明せよ。

問4 下線部(2)に関連して、先進諸国内の労働者側は移民受入に対してどのような懸念を示しているのか、30字以内で答えよ。

問5 下の表1は国際移住者の出身上位7か国を示している。A～Cの国名の組合せとして適切なものを①～⑥から一つ選び、番号で答えよ。

- ① A：インド B：メキシコ C：ロシア
- ② A：インド B：ロシア C：メキシコ
- ③ A：メキシコ B：インド C：ロシア
- ④ A：メキシコ B：ロシア C：インド
- ⑤ A：ロシア B：インド C：メキシコ
- ⑥ A：ロシア B：メキシコ C：インド

表1 国際移住者の出身国

(単位：千人)

国	2000年	2015年	1人あたり GDP (ドル)
A	7,952	15,576	1,586
B	9,329	12,339	10,326
C	10,813	10,577	12,898
中国	5,754	9,546	7,617
バングラデシュ	5,433	7,205	1,088
パキスタン	3,393	5,935	1,358
ウクライナ	5,608	5,826	2,929

資料：『世界国勢図会2016/17』

注1)国際移住者数は出身国別の移民・難民数である。

2)1人あたりGDPは2014年の数値である。

地理

〔Ⅲ〕 世界の交通・通信に関するつぎの文章AとBを読み、以下の問いに答えよ。

A 人や貨物の移動手段は、様々な技術革新によって発展した。水上交通は大きな貨物を大量に安く輸送できるため、世界の貨物輸送の多くを担っている。石油は , 鉱石は などの大型専用船で輸送され、港湾での積み替え作業では が利用される。貨物量の多い港湾にはこれらの船専用の施設が備えられている。陸上交通では、大量の旅客や貨物を長距離にわたって正確な時間で輸送できるため、鉄道による輸送網が発展した。また20世紀以降、世界各地で が進み、道路交通は重要な陸上交通となっている。陸上交通の主役は ⁽¹⁾ であり、一度に輸送できる量は限られているものの、道路網を自由に移動でき利便性が高い。

現在、先進国の多くでは都市内部での近距離用の地下鉄、近郊鉄道の路線が充実しているため、近くの駅まで自家用車で移動して駐車してから移動する も普及している。また も増えて、高齢者や障害者が利用しやすい環境が整ってきた。

B 今日のような高度情報化社会では、情報のやりとりの時間距離がほとんど消滅し、世界各地の結びつきが強まり、世界は一体化しつつある。たとえば、インターネットを利用した は世界の経済に大きな変化をもたらしている。インターネットとは、世界各国の通信網を、電話回線・衛星回線・専用回線などを利用して相互に接続した巨大な ネットワークである。しかし、地域間の情報化は均等に発展しているわけではなく、先進国と発展途上国との をひろげることにもなった。

現在、世界のインターネット利用者数は増加し続けている。2015年末のインターネット利用者数は、約32億人に達しているものの、発展途上国は人口のおよそ3分の2がインターネットから取り残されている(『世界国勢図会2015/16』)。発展途上国におけるインターネット普及の遅れは、 の遅れに加えて、 が割高であることが言われている。

また、世界の固定電話の契約件数は減少している。一方、携帯電話などの移動電話契約数は , , などの国々やアフリカで急速

に普及している。

問1 文中の空欄 a ~ l に当てはまる最も適切な語句を、以下の語群①~⑱からそれぞれ一つ選び、番号で答えよ。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① インフラ整備 | ② LCC |
| ③ LRT | ④ オートバイ |
| ⑤ コンテナ | ⑥ コンテンツ |
| ⑦ コンピューター | ⑧ 自転車 |
| ⑨ 自動車 | ⑩ タンカー |
| ⑪ デジタル・デバイド | ⑫ 電子商取引 |
| ⑬ パークアンドライド方式 | ⑭ バラ積み船 |
| ⑮ ブロードバンド | ⑯ モータリゼーション |
| ⑰ モーダルシフト | ⑱ 利用料金 |

問2 下線部(1)について、下の表1は、道路延長と舗装率の上位5カ国(2012年)を示したものである。表1中の(あ)と(い)にあてはまる国名を、以下の語群①~⑤から選んで、番号で答えよ。

表1 世界における道路延長と舗装率(2012年・上位5カ国)

国名	道路延長(千km)	1 km ² 当たり道路延長	舗装率(%)
(あ)	6,587	0.67	67.4
インド	4,865	1.48	55.5
中華人民共和国	4,238	0.44	66.0
(い)	1,584	0.19	13.9
カナダ	1,409	0.14	39.9

『データブック・オブ・ザ・ワールド』2017年より作成

- | | | |
|-----------|--------|-------|
| ① アメリカ合衆国 | ② イギリス | ③ ドイツ |
| ④ フランス | ⑤ ブラジル | |

地理

問3 下線部(2)について、下の表2は、2014年のインターネット利用者数上位5カ国を示したものである。表2中の(う)と(え)に当てはまる国名を、以下の語群①～⑤から選んで、番号で答えよ。

表2 世界におけるインターネット利用者数(上位5カ国)

国名	2010年(万人)	2014年(万人)	利用者率(%)
(う)	46,008	68,714	50.3
アメリカ	24,520	28,181	74.6
インド	9,185	22,813	26.0
ブラジル	7,925	11,637	59.1
(え)	10,123	11,504	93.3

『データブック・オブ・ザ・ワールド』2017年より作成

- ① インドネシア ② 大韓民国 ③ 中華人民共和国
 ④ 日本 ⑤ フランス

問4 本文Bの空欄 に当てはまる国名を、以下の表3を参考にして、解答欄に記入せよ。

表3 移動電話契約数

国名	2000年 (単位千件)	2014年 (単位千件)	100人あたり件数 (2014年)
(ア)	85,260	1,286,093	92.3
(イ)	3,577	944,009	74.5
アメリカ合衆国	109,478	317,444	98.4
ブラジル	23,188	280,729	139.0
(ウ)	3,263	221,030	155.1
日本	66,784	152,696	120.2
ナイジェリア	30	138,960	77.8

『世界国勢図会2015/16』より作成